

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイSES藤枝きた校			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ~ 令和7年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	令和7年10月20日 ~ 令和7年10月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの子どもに対してアセスメント及びモニタリングを適切に行い、お子様と保護者様のニーズ及び課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画書を作成しております。	保護者様から聞き取りを行い、お子様の行動を客観的に記録し、どのように支援したらよいか、という議題のもと、会議を行っております。また、児童発達支援管理責任者だけでなく、職員全員が共通理解のもと支援を行っております。	問題が発生した際に素早く対応できるように子どもの状況を全職員が把握できるよう取り組んでおります。
2	活動プログラムがマンネリ化しないようにしております。	カリキュラムの掲示を行い、事業所の通信及びタブレット等で活動内容や行事予定を保護者様やお子様にお知らせしています。	日々の子どもの状況や成長したことなどを全職員で意見交換を行うことによってさらなる支援につなげております。
3	多数の資格保持者が在籍しております。	社内での新人研修、アンガーマネジメント研修、感染症対策研修等、多数の研修に職員が参加しております。	社外での有識者による研修にも進んで参加しており、そこで得た知識、技能、技術を職員全員で共有しております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や外部組織とのコミュニケーションが不足していると考えられます。	インフルエンザやコロナウイルス等、感染症による感染拡大の防止のため外部との接触を控えておりました。	地域との交流（祭りやボランティア活動）への積極的な参加が必要と考えられます。
2	音や光が遮断されている部屋が存在していないと考えられます。	事業所内にそういうったスペースは存在しておりますが、部屋をカーテンで仕切っているだけとなっております。	クールダウンするための場所として、仕切ってあるだけなくきちんとした部屋を用意する予定です。
3			